

## 第2章 学ぶ喜びがあふれ文化の薫るまち

---

### 第1節 次世代を担う人材育成と高等教育の充実を図ります

- 1 幼児教育 ..... 70
- 2 義務教育 ..... 72
- 3 高校・大学・各種教育機関 ..... 74

### 第2節 人が輝き文化の薫るまちづくりを進めます

- 1 学習活動と社会参加 ..... 76
- 2 青少年教育 ..... 78
- 3 市民文化 ..... 80
- 4 スポーツ・レクリエーション ..... 82

# 1 幼児教育

## 現況と課題

近年、親の就労形態の多様化や核家族の進行、近隣関係の希薄化などにより、幼児を取り巻く環境は大きく変化し、様々なニーズへの対応が必要となっています。

少子高齢化の進展の中で、次代を担う人材の育成は重要な課題であり、生涯にわたる人格形成の基礎を担う幼児教育の重要性はますます大きくなっており、家庭、地域社会、幼稚園や保育所などそれぞれが幼児教育を充実させ、相互に十分な連携を図っていくことが求められています。

また、幼稚園や認定こども園\*は、幼児教育の中核としての役割を担うものであり、入園を希望するすべての幼児に充実した幼児教育を受けられる機会が確保されるよう、支援を行うことが必要となっています。

## 基本目標

家庭や地域との連携を図りながら、幼稚園教育要領に基づき幼児の自発的な活動としての「遊び」を重要な学習として位置づけ、「環境を通して行う」という幼児教育の基本に立って、心身共に健全な発達を促す幼稚園教育の推進に努めます。

## 施策の体系

幼 児 教 育

- 1 幼児教育の充実
- 2 地域社会との連携

## 主要施策

### 1 幼児教育の充実

- (1) 一人ひとりの特性や発達の段階に応じた教育を推進するとともに、発達の遅れや障がいの疑いのある幼児に対するきめ細かな対応、幼児特別支援教育の促進に努めます。
- (2) 保護者の多様な保育へのニーズに応えるとともに、就園希望の幼児が全て就園できるように保護者の負担軽減に努めます。
- (3) 保育所や小学校などとの交流の機会を増やし連携を深めながら、集団生活における同年齢・異年齢児とのふれあいを通して心の成長の促進に努めます。
- (4) 職員研修の充実や、幼稚園教諭と保育士の免許状の併有・上級免許状の取得など、教員の専門性の向上を目指し幼稚園教育の水準の維持・向上を図ります。
- (5) 幼児教育の内容充実が図られるよう、幼稚園などにおける幼児教育に関する研究や、発達の遅れや障がいの疑いのある幼児に対してきめ細かな教育が行われるように必要な支援を行います。
- (6) 入園料や保育料についての保護者の負担軽減を図るための支援を行います。

### 2 地域社会との連携

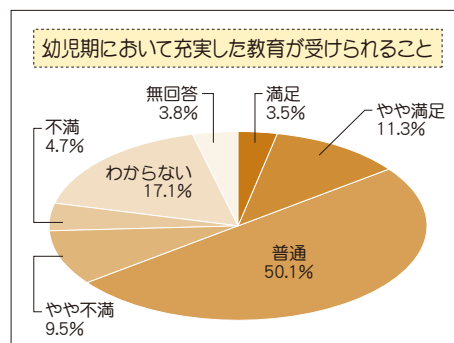
- (1) 幼稚園が「地域の幼児教育センター」としての役割を果たし、町内会や未就園児との関わりを深め、地域の子育て支援活動を推進します。

## 主な事業

- 統合保育(特別支援教育)の促進事業
- 幼保連携・幼小連携事業
- 開かれた幼稚園事業

## 評価指標

指 標	基準(H19)年度	H24年度	H29年度目標
「幼児期において充実した教育が受けられること」への市民満足度 (市民意識調査で「満足」「やや満足」と答えた人の割合)	13.4%	14.8%	16.0%
私立幼稚園で「統合保育」を受ける障がい児及び疑いのある幼児の受入可能人数	40人	53人	80人



※認定こども園…文部科学省と厚生労働省において、地域の多様なニーズに応え、幼稚園と保育所等のよいところを活かしながら、制度の枠組みを越えた新たな仕組みとして、平成18年10月にスタートした制度。

## 2 義務教育

### 現況と課題

国際化、情報化、少子高齢化、科学技術の進展や価値観の多様化など社会の激しい変化の中で、学校教育をめぐっては、いじめや不登校、非行などの深刻な問題や社会体験の不足など様々な課題が指摘されています。

このような中で、特に「生きる力」を育み、「豊かな人間性の育成」を目指し、心の教育の充実を図っていくことが強く求められています。

そのためには、学校・家庭・地域社会がより一層連携を深め、自ら学び自ら考える学習指導の推進と、子ども一人ひとりの個性を生かし、生涯にわたって生きる力の基礎を培う、創意に満ちた学校教育の推進に努めるとともに、教育施設・設備の整備充実を図ることが課題です。

平成25年度当初では、小学校24校、中学校15校（うち分校1校）を設置していますが、建築年度の古い校舎や屋内体育館が多いため、適正配置を考慮した上で耐震化や改築・改修を進め、児童生徒の安全確保を図るなど、教育環境を整備していく必要があります。

### 基本目標

21世紀の郷土を担う、自ら学ぶ意欲と豊かな人間性を持つ児童生徒を育成するため、社会の変化に対応する教育内容の充実と教育環境の整備を図ります。

### 施策の体系

#### 義務教育

- 1 教育内容の充実
- 2 特別支援教育の充実
- 3 施設・設備の充実
- 4 父母負担の軽減

### 主要施策

#### 1 教育内容の充実

- (1) 教職員の研修の充実を図り、児童生徒一人ひとりの能力や適性に応じた指導方法の研究に努めます。
- (2) 国際理解や環境問題など、広い視野を身につけるための教育活動や体験活動を通して「生きる力」を育てる教育活動を展開します。
- (3) 情報化社会への対応や教育効果を高めるため、教育用コンピュータや校内LANなどの情報環境教育の整備に努めます。
- (4) 給食内容を充実し、安心・安全な給食の提供に努めるとともに、食育教育の推進を図ります。

#### 2 特別支援教育の充実

- (1) 児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、障がいの状態及び発達段階や特性に応じた指導と教員の専門性を高める研修の充実を図るとともに、適切な就学指導を推進します。
- (2) 児童生徒の社会性を広げるため、学校内外や地域社会との交流を活発に行うとともに、自然とのふれあいを大切にした指導の充実を図ります。

### 3 施設・設備の充実

- (1) 児童生徒数の推移を見ながら小・中学校(特別支援学級含む)の新增設や統廃合など、学校規模の適正化を図ります。
- (2) 校舎と体育館の耐震化や改築・改修など、教育環境の向上に努めます。

### 4 父母負担の軽減

- (1) 教育費に係る父母負担の軽減に努めます。

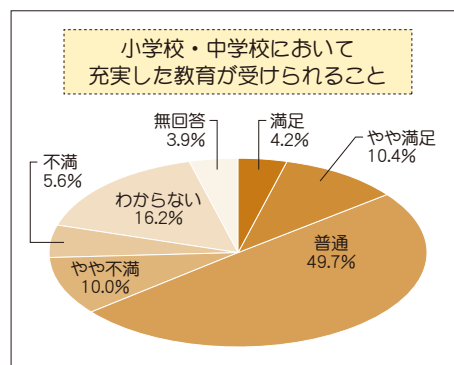
## 主な事業

- 心の教室相談員配置事業
- いじめ・不登校問題対策事業
- 小・中学校施設整備事業

## 評価指標

指 標	基準(H19)年度	H24年度	H29年度目標
「小学校・中学校において充実した教育が受けられること」への市民満足度 (市民意識調査で「満足」「やや満足」と答えた人の割合)	13.5%	14.6%	16.0%
小学校学校図書標準蔵書数充足学校数率	41.0%	47.8%	66.6%
中学校学校図書標準蔵書数充足学校数率	33.0%	43.7%	73.3%
小学校特別支援学級設置校数 (植苗小・樽前小学校除く)	8校	21校	22校
中学校特別支援学級設置校数	4校	6校	6校
小学校介添人配置人数	11人	14人	22人
中学校介添人配置人数	3人	5人	6人
小学校特別支援教育支援員配置校数	—	5校	24校
中学校特別支援教育支援員配置校数	—	9校	13校
校舎・屋内体育館の耐震化率	37.3%	63.5% ※	90.0%

※ H23年度実績



## 3 高校・大学・各種教育機関

### 現況と課題

少子高齢化が進む中で、本市の公立高等学校の間口削減が続いており、市内の中学校を卒業した生徒が市外の高等学校に進学することを余儀なくされ、保護者の経済的負担の増大などの課題が生じていることから、卒業者のニーズに合った適正な間口の確保が求められています。

苫小牧駒澤大学は、平成24年度に本市や商工会議所と「相互協力協定」を締結し、地域社会の発展や人材の育成を目指すとともに、平成25年度から幅広い職業人を養成することを目的に「キャリア創造学科」を開設するなど、魅力ある大学づくりを目指しています。また、苫小牧工業高等専門学校では、より高度な専門知識と技術を教授し、人材の育成に努めています。

今後、魅力あるまちづくりを進めるためにも、本市と高等教育機関との連携をより一層深めていくことが必要です。

### 基本目標

ニーズに合った市内公立高等学校の適正な間口の確保に努めるとともに、経済的な理由から就学が困難な方にも教育が受けられるよう支援します。また、大学や工業高等専門学校との連携を一層強化することにより、地域の活性化と魅力向上を図ります。

### 施策の体系

高校・大学・  
各種教育機関

- 1 高等学校の充実
- 2 高等教育機関との連携
- 3 育英制度などの充実

### 主要施策

#### 1 高等学校の充実

- (1) 中学校卒業生の推移を見ながら、そのニーズに合った市内公立高等学校の適正な間口の確保に努めます。
- (2) 私立高等学校における生徒活動の充実などのため必要な支援を行います。

#### 2 高等教育機関との連携

- (1) 各種高等教育機関と様々な分野で相互連携を促進します。

#### 3 育英制度などの充実

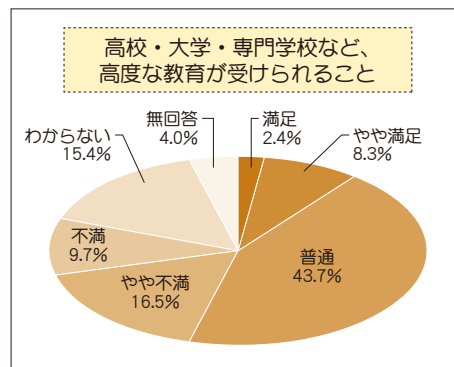
- (1) 就学機会の拡大と優れた人材を育成するため、育英制度などの充実にも努めます。

## 主な事業

- 公立高等学校配置検討協議会事務
- 市育英会・交通遺児育英会事務
- 私学振興事業

## 評価指標

指 標	基準(H19)年度	H24年度	H29年度目標
「高校・大学・専門学校など、高度な教育が受けられること」への市民満足度 (市民意識調査で「満足」「やや満足」と答えた人の割合)	11.0%	10.7%	20.0%
公立高等学校配置検討協議会に提案した案件数	1件	1件	1件
奨学金新規貸与・受給者数	25人	13人	25人



# 1 学習活動と社会参加

## 現況と課題

少子高齢化、高度情報化、国際化などの急激な社会の変化とともに、人々のライフスタイル・価値観・人生の指標などが多様化する中で、それぞれの世代のニーズに対応する学習機会の充実、市民の主体的参加による「まちづくり」など、学習活動や社会参加に対する要請はますます強くなっています。

これからの学習活動は、「趣味・教養」を充足させるためのものにとどまるのではなく、学んだ経験や成果を活用することが求められています。また、「ひとづくり」「まちづくり」という視点を持ち、社会や地域の様々な課題を解決するため積極的に取り組むとともに、学校・家庭・地域が連携した仕組みづくりを市民とともに進めていくことが必要です。

## 基本目標

市民一人ひとりの生涯にわたる学習意欲を高め、豊かな心と自立の力を育て、人と人々が連帯する活力のある学びの環境づくりと、学びを生かしたひとづくり、まちづくりに努めます。

## 施策の体系

### 学習活動と社会参加

- 1 いつでもどこでも学ぶことのできる環境整備の充実
- 2 学んだ経験や成果を生かす地域コミュニティ形成の促進

## 主要施策

### 1 いつでもどこでも学ぶことのできる環境整備の充実

- (1) 市民一人ひとりが生き生きと学ぶ機会の充実を図ります。
- (2) 生涯学習関連施設の活性化と高等教育機関との連携を図ります。
- (3) ICT(※1)の活用による学習支援の充実に努めます。

### 2 学んだ経験や成果を生かす地域コミュニティ形成の促進

- (1) 学んだ経験や成果を生かす活動の奨励と推進を図ります。
- (2) 学習グループや生涯学習関連団体・企業などとの連携を図ります。
- (3) 地域・市民と密着した協働体制の充実に努めます。



## 主な事業

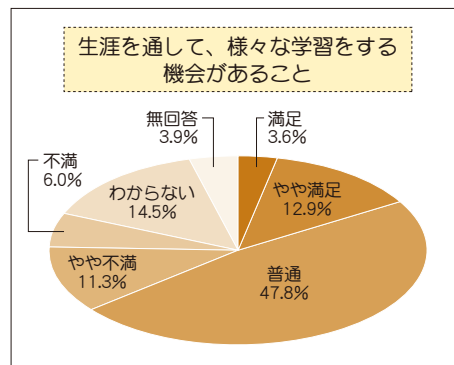
- 生涯学習推進事業
- 学社連携・融合推進事業
- 生涯学習情報の提供や指導者の育成支援

## 評価指標

指 標	基準(H19)年度	H24年度	H29年度目標
「生涯を通して、様々な学習をする機会があること」への市民満足度 (市民意識調査で「満足」「やや満足」と答えた人の割合)	16.9%	16.5%	18.0%
出前講座実施回数	193回	268回 ※2	300回
各施設の生涯学習関連講座開設数	243講座	339講座 ※2	350講座
各施設の生涯学習関連講座受講数	5,305人	7,157人 ※2	7,500人

※1 ICT…ITに「コミュニケーション」を加えた、Information&Communication Technologyの略で、ネットワークや情報システムを総称する言葉です。

※2 H23年度実績



## 2 青少年教育

### 現況と課題

青少年の健全育成の基本である「学校」「家庭」「地域」を取り巻く社会情勢は、少子高齢化や情報化、青少年の学ぶ意欲の低下などの影響を受け、複雑さを増しています。このような状況から青少年が自ら判断し、行動できる力を身につけるための学習の機会や環境の整備、青少年の心身を守り育てる核として、「学校」「家庭」「地域」との連携をさらに強めていくことが必要となっています。

### 基本目標

青少年を健やかに育む「学校」「家庭」「地域」との連携を強化し、安心・安全な育成環境の確保と、積極的に社会参加する青少年を育成する機会を設けます。

### 施策の体系

#### 青少年教育

- 1 青少年健全育成の推進
- 2 青少年育成環境の整備
- 3 青少年の社会活動の支援
- 4 青少年の非行防止対策の推進

### 主要施策

#### 1 青少年健全育成の推進

- (1) 「苫小牧市次世代育成支援対策推進行動計画」に基づき、家庭教育の充実を図るとともに「学校」「地域」と連携を強化し、「子ども会」活動を推進します。  
また、青少年育成者や青少年リーダーの養成を図ります。

#### 2 青少年育成環境の整備

- (1) 青少年の健全育成の活動拠点として、児童センターの新設・整備充実に加えて放課後児童クラブの推進を図ります。

#### 3 青少年の社会活動の支援

- (1) 青少年に「まちづくり」や「ボランティア」について積極的に参加・発言する機会を提供し、地域に対する意識を高めるための支援をします。

#### 4 青少年の非行防止対策の推進

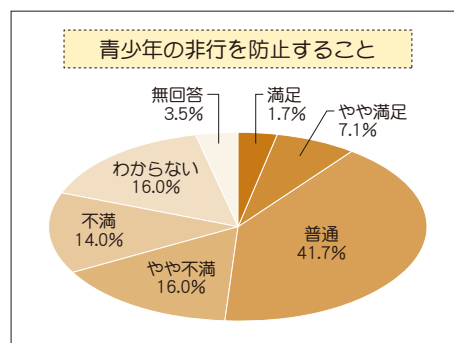
- (1) 義務教育対象の児童・生徒に限らず、有職・無職少年の指導強化を図ります。
- (2) 家庭における教育力の強化に努め、地域との連携により規範意識を向上させるため、情報等の発信に努めます。
- (3) 関係機関との連携を図り、少年非行の早期発見及び指導に努めます。

## 主な事業

- (仮称) 新大成児童センター建設
- 児童センター建設 (沼ノ端鉄北地区)
- 子ども研修事業
- 放課後児童クラブ業務
- 青少年の非行防止事業
- 子ども安心・安全事業 (「SOSの家」マップ作成、ステッカー貼付事業)

## 評価指標

指 標	基準(H19)年度	H24年度	H29年度目標
「青少年の非行を防止すること」への市民満足度 (市民意識調査で「満足」「やや満足」と答えた人の割合)	7.6%	8.8%	10.0%
児童館・児童センター数	6館	7館	7館



## 3 市民文化

### 現況と課題

文化芸術は、人々の創造性や感性を育み、心豊かな社会を形成することから、市民生活のよりどころとして重要な役割を担っています。少子高齢化や高度情報化が著しく進展する社会背景の中で、文化芸術に対する市民ニーズも、一段と多様化、高度化しています。

こうした市民ニーズに対応するため、市民の文化芸術活動の支援や人材育成、文化施設における事業の充実などが求められています。

### 基本目標

文化の薫り高く潤いのある市民生活の形成のために、文化芸術の振興を図るとともに、学校教育における文化芸術活動を支援し、青少年などの文化芸術を支える人材育成や、文化芸術の発表及び鑑賞機会の充実や環境整備に努めます。また、文化財の保護活用に努めます。

### 施策の体系

#### 市民文化

- 1 文化芸術にかかる活動の促進
- 2 人材の育成
- 3 文化財の保存と活用
- 4 環境の整備と充実

### 主要施策

#### 1 文化芸術にかかる活動の促進

- (1) 文化芸術に対する意識の高揚に努め、「苫小牧市民文化芸術振興推進計画」に基づいて事業の振興を図ります。
- (2) 文化芸術への優れた貢献に対する顕彰を行います。

#### 2 人材の育成

- (1) 文化芸術を支える創造性豊かな青少年の育成と、芸術家や優秀な指導者などの人材育成に努めます。

#### 3 文化財の保存と活用

- (1) 歴史的文化遺産の保存と有効活用に努めます。

#### 4 環境の整備と充実

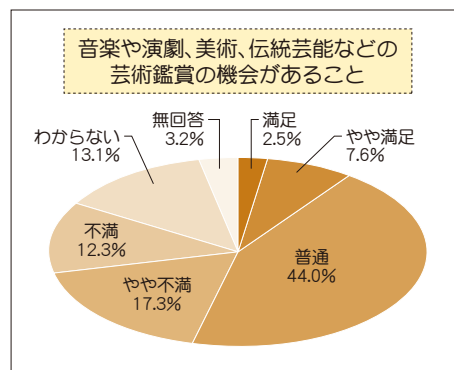
- (1) 文化施設での展示や事業の充実を図り、市民の文化活動の拠点としての機能を高めます。
- (2) 老朽化した施設の整備と、高齢者や障がい者が参加しやすい環境の整備に努めます。
- (3) 多様な市民ニーズに応える図書資料や郷土資料の収集保存に努め、様々な社会環境の変化に適応する知識・情報の提供など図書館機能の整備拡充に努めます。
- (4) 博物館所蔵資料や美術に関する作品などの資料を収集保存し、市民観覧に供するとともに、文化芸術の振興に努めます。

## 主な事業

- 青少年ミュージックキャンプ
- 文化芸術振興事業
- 高等学校文化活動遠征費補助
- 文化芸術振興計画施策推進事業
- 文化公園アートフェスティバル
- 図書館蔵書整備事業
- 美術博物館特別展・企画展事業
- 科学体験活動事業

## 評価指標

指 標	基準(H19)年度	H24年度	H29年度目標
「音楽や演劇、美術、伝統芸能などの芸術鑑賞の機会があること」への市民満足度 (市民意識調査で「満足」「やや満足」と答えた人の割合)	10.6%	10.1%	11.0%
文化芸術振興助成申請件数	34件	20件	40件
市主催文化芸術鑑賞事業の実施数	5回	5回	5回
市民文化祭参加人数	5,637人	5,500人	6,000人
図書館貸出資料数	85万4千冊	90万1千冊	93万8千冊
博物館利用者数	29,756人	30,000人	30,000人
科学センター利用者数	81,849人	85,000人	90,000人



## 4 スポーツ・レクリエーション

### 現況と課題

全国で初めてスポーツ都市宣言をした本市では、「市民皆スポーツ」を推進していくために、様々なスポーツプログラムの企画、各種スポーツクラブや団体の育成をはじめ、多くの市民に夢や感動・勇気を与える競技スポーツの振興にも努めてきました。また、市民の誰もがそれぞれの体力や年齢、興味に応じて、いつでもどこでも誰とでもスポーツに親しめるよう、各種スポーツ施設の整備・充実を図ってきました。しかし、既存施設の多くが建設から数十年が経過し、老朽化が目立ち、施設の改修や補修をはじめ器具の更新も急がれている現状から、早期に施設整備計画を立て、老朽化の著しいところから整備していく必要があります。

### 基本目標

市民の誰もがスポーツに親しむことができる生涯スポーツの普及・振興と技術向上を図り、スポーツ施設の整備や有効利用に努めるとともに、夏の冷涼な気候や交通の利便性をアピールし、各種スポーツ大会やスポーツ合宿の誘致活動なども支援していきます。

### 施策の体系

スポーツ・  
レクリエーション

- 1 生涯スポーツの充実
- 2 競技スポーツの充実
- 3 スポーツ施設の整備と活用
- 4 スポーツ指導者の確保と養成
- 5 国際、国内などのスポーツ交流
- 6 各種スポーツ大会や合宿の誘致
- 7 総合型地域スポーツクラブ育成支援

### 主要施策

#### 1 生涯スポーツの充実

- (1) 市民一人ひとりが健康で活力ある生活を目指し、性別や年代層に応じた様々な健康・体力づくりの事業を行います。
- (2) 「市民皆スポーツ」を推進するため、市民がスポーツに親しむ機会の拡大を図ります。

#### 2 競技スポーツの充実

- (1) 競技力向上を目指すため、指導者の養成や、各種講習会や講演会を開催し、多くの市民に夢と感動と勇気を与える競技スポーツを推進します。

#### 3 スポーツ施設の整備と活用

- (1) 市民スポーツの普及・振興と技術の向上を図るため、陸上競技場、野球場、庭球場などのスポーツ施設を計画的に整備します。

#### 4 スポーツ指導者の確保と養成

- (1) 市民の各年齢層のニーズにあわせ、適切なスポーツ活動ができるよう指導・助言を行なう指導者の育成・活用と効果的な指導体制を整備します。

#### 5 国際、国内などのスポーツ交流

- (1) 各種スポーツ大会を積極的に誘致・開催するとともに、国際・国内のスポーツ交流の充実を図り、活力あるまちづくりを目指します。

#### 6 各種スポーツ大会や合宿の誘致

- (1) 夏の冷涼な気候や交通の利便性などをPRし、各種の全国大会や合宿の誘致活動を支援し、青少年をはじめ競技レベルの向上に寄与します。

#### 7 総合型地域スポーツクラブ育成支援

- (1) 地域におけるスポーツ活動の新たな基盤として、地域住民が主体的に運営するスポーツクラブを支援し、市民の継続的なスポーツ活動を推進します。

## 主な事業

- 学校開故事業
- スポーツ施設整備事業
- 小中高大会遠征費補助事業
- 氷上スポーツ育成事業
- アイスホッケー殿堂誘致事業

## 評価指標

指 標	基準(H19)年度	H24年度	H29年度目標
「スポーツやレクリエーションを身近で楽しめること」への市民満足度 (市民意識調査で「満足」「やや満足」と答えた人の割合)	16.5%	19.4%	20.0%
生涯スポーツ事業参加者数	225千人	215千人 ※	236千人
競技スポーツ事業参加者数	35千人	32千人 ※	37千人

※ H23年度実績

